

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の概要



令和5年12月14日

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

1. 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の概要

1. 路線延長: 約212km(うちトンネル区間 約8割)

(駅: 新函館北斗(既開業)、**新八雲(仮称)**、**長万部**、**倶知安**、**新小樽(仮称)**、札幌)

2. 工事实施計画(その1)認可(事業着手): 平成24年(2012年)6月

工事实施計画(その2)認可(設備工事着手): 令和5年(2023年)3月

3. 完成・開業時期: 令和12年(2030年)度末の開業を目指す

4. 所要時間:

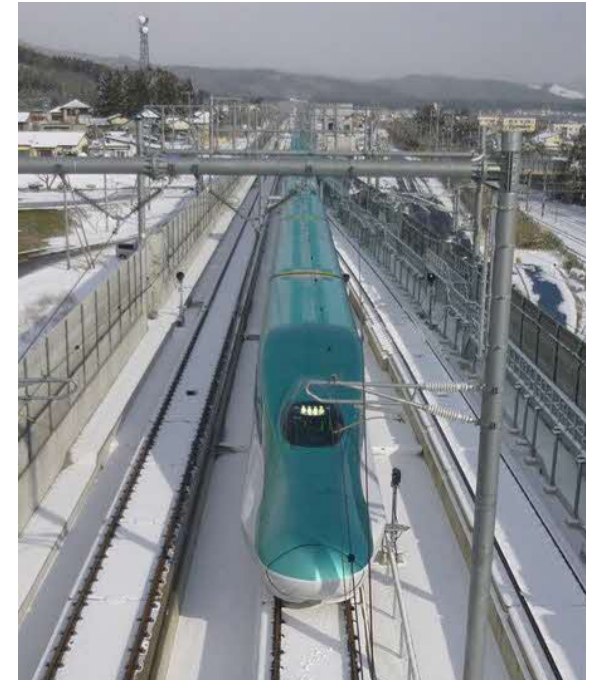
東京～札幌 4時間49分(新函館北斗延伸時: 7時間44分)

函館～札幌 1時間22分

※) 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)事業に関する再評価報告書(R5.3)より(新函館北斗・札幌間の最高速度を260km/hに設定した場合)。

※) 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の他、東北新幹線(盛岡・新青森間)、青函トンネル内等において高速化に向けた取り組みが進められている。

※) 実際の運行ダイヤは営業主体であるJR北海道が決定。



2. 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)路線

2023年12月現在

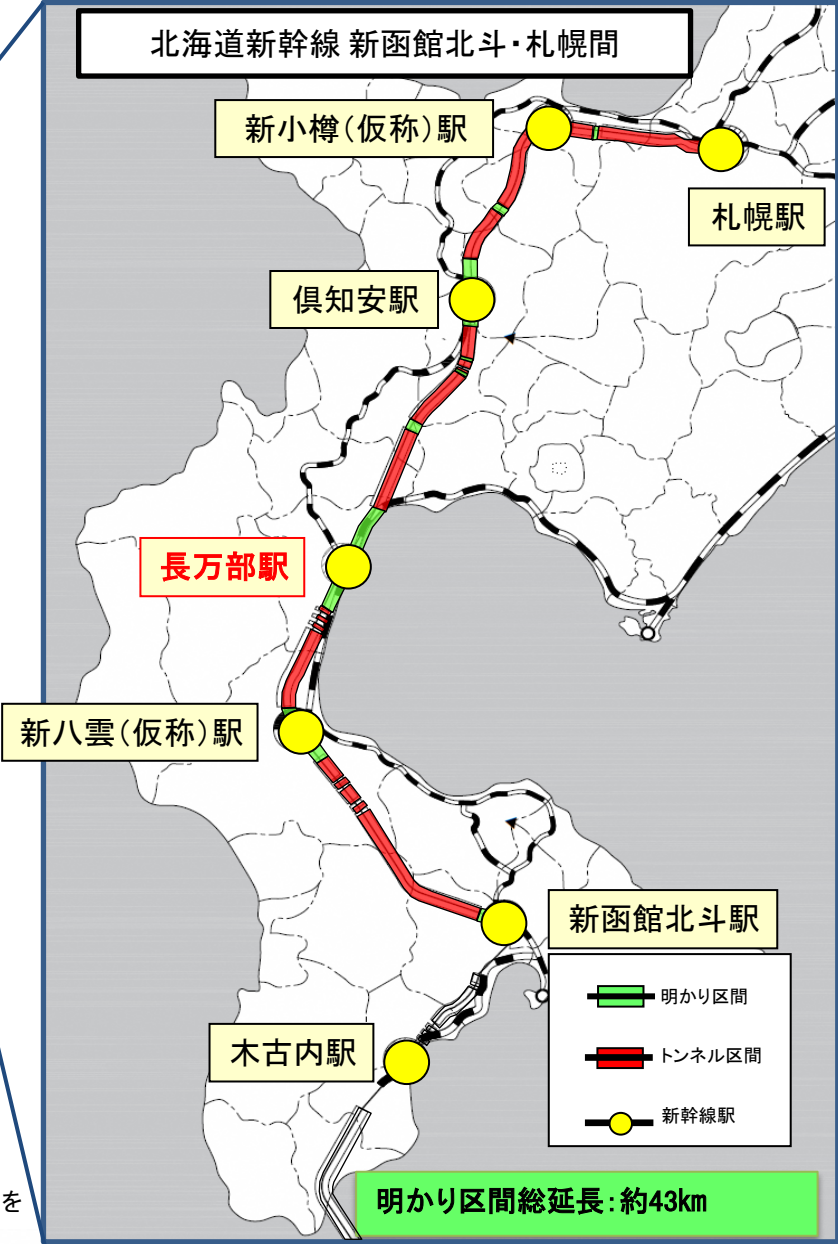
凡例

営業中の新幹線

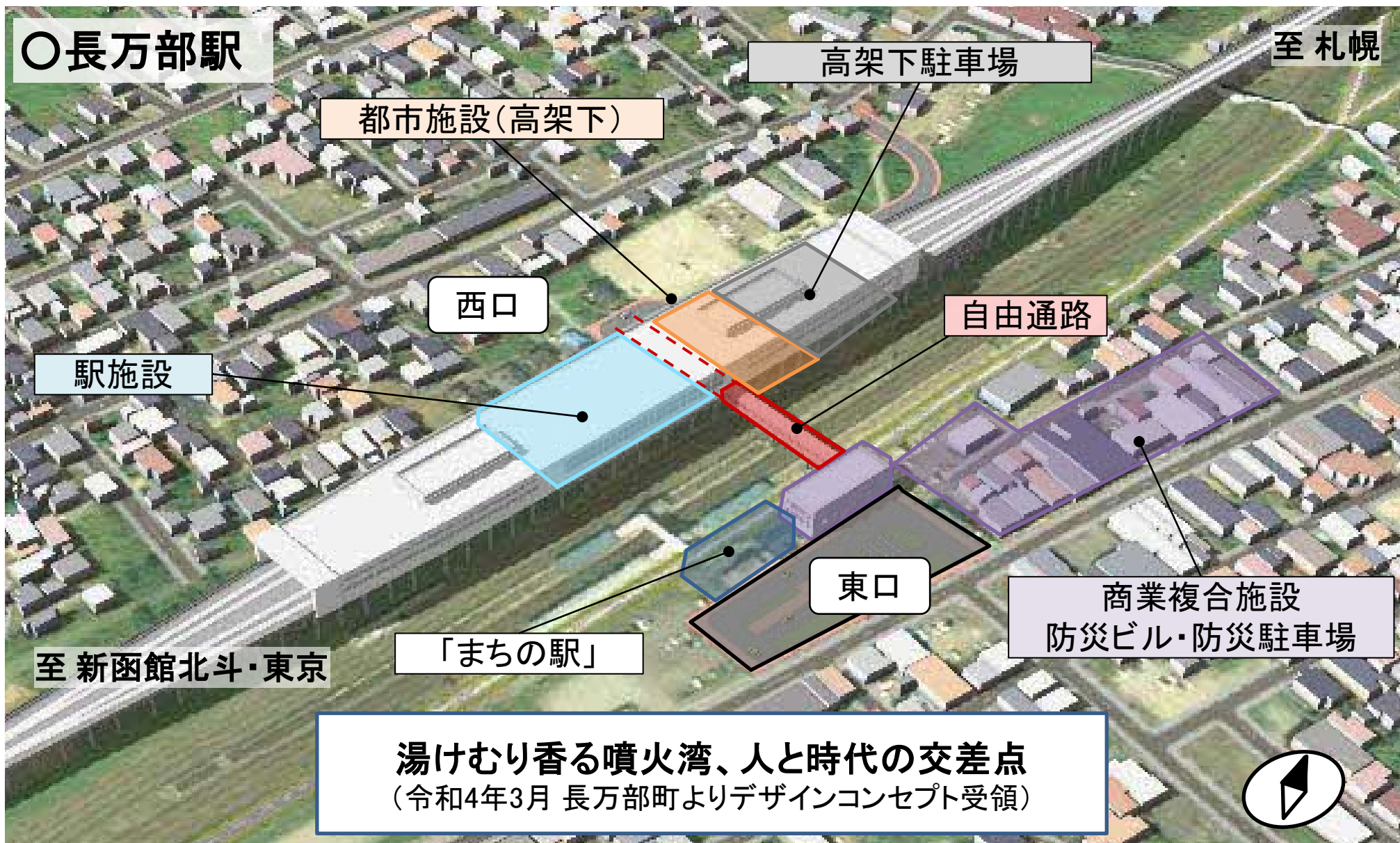
建設中の新幹線（建設主体は鉄道・運輸機構）



注1) 現時点の予定であり、今後変更することがある。
注2) 一部PC桁を除く。
注) 明かり区間総延長(約43.0km)のうち、トンネル発注工事に含まれる区間を除く、明かり区間の発注総延長は40.9km



3. 駅計画平面図 ～長万部駅～



4-1. 駅デザイン決定の流れ

ユニバーサルデザイン政策大綱

平成17年7月

ユニバーサルデザイン政策大綱(国土交通省)

「交通事業者と地域住民等との協働の促進」

地域住民等の主体的な参画は、住民自らの公共交通の利用を促すことにもつながることから、**交通事業者と地域住民等との協働による取組みをさらに促進する必要がある。**



地域の方々との協働による駅デザイン決定への取組みを実施

4-2. 駅デザイン決定の流れ

ユニバーサルデザイン政策大綱制定以降建設を開始した整備新幹線

線区		開業	駅
東北新幹線	八戸・新青森間	平成22年12月	七戸十和田、新青森
九州新幹線	博多・新八代間	平成23年3月	新鳥栖、久留米、筑後船小屋、新大牟田、新玉名、熊本
北陸新幹線	長野・金沢間	平成27年3月	飯山、上越妙高、糸魚川、黒部宇奈月温泉、富山、新高岡、金沢
北海道新幹線	新青森・新函館北斗間	平成28年3月	奥津軽いまべつ、木古内、新函館北斗
九州新幹線	武雄温泉・長崎間	令和4年9月	武雄温泉、嬉野温泉、新大村、諫早、長崎
北陸新幹線	金沢・敦賀間	令和6年3月 予定	小松、加賀温泉、芦原温泉、福井、越前たけふ、敦賀
北海道新幹線	新函館北斗・札幌間	令和12年度末 完成目標	新八雲(仮称)、長万部、倶知安、新小樽(仮称)、札幌

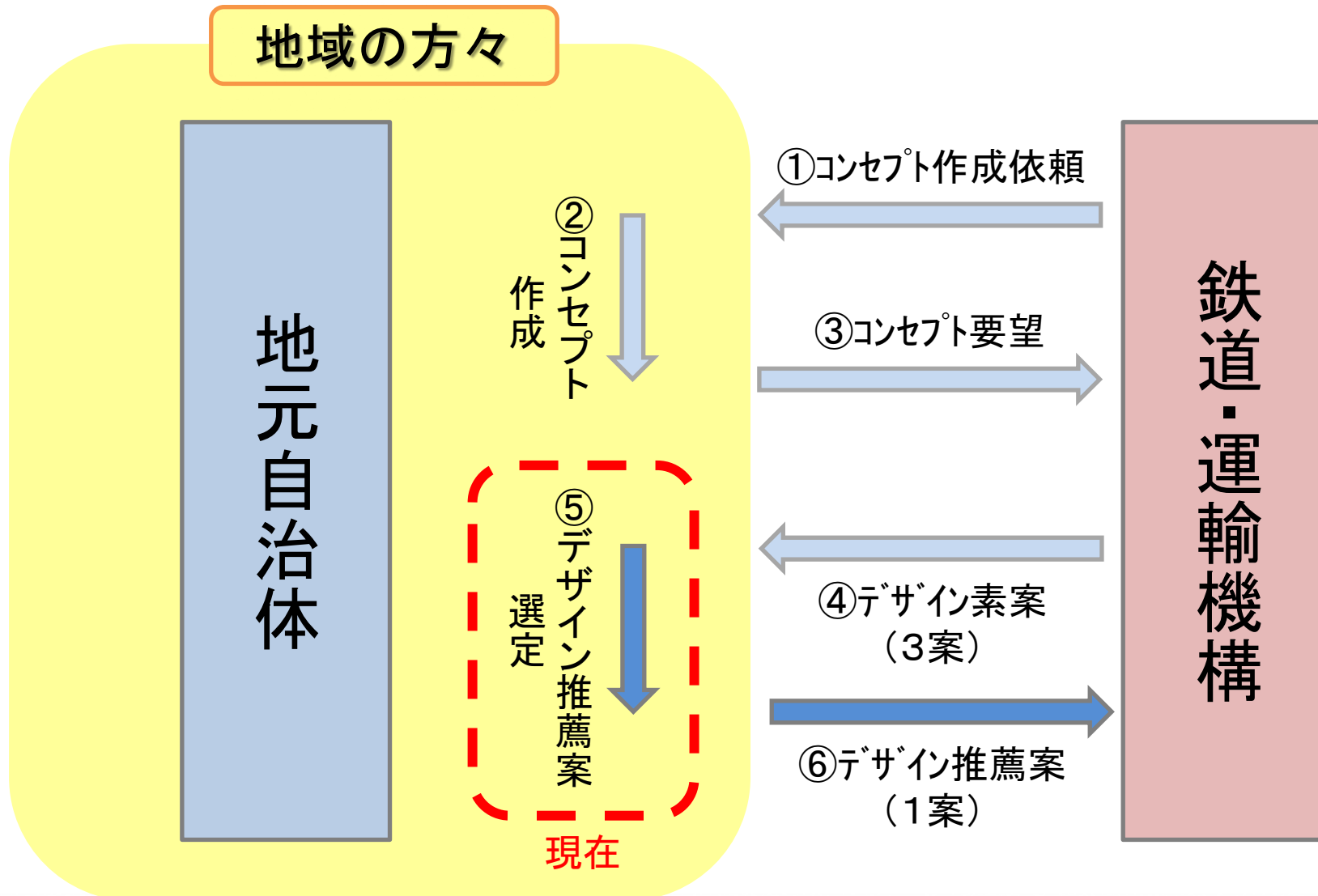
既開業



建設中

4-3. 駅デザイン決定の流れ

地域の方々と協働した駅デザイン決定までの取組み



5. 長万部町より受領した駅デザインコンセプト

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北海道新幹線建設局長 竹津 英二 様

北海道新幹線長万部駅舎デザインに関する

要 望 書

令和4年3月

北海道長万部町

5. 長万部町より受領した駅デザインコンセプト

令和12年度末開業に向けた北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）整備推進につきまして、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、古くから道南と道央を結ぶ交通の要衝として発展してきた当町にとって、今後、北海道新幹線長万部駅の開業により、北海道の重要な交通拠点としての役割が、より一層期待されております。

当町としては、町民・地元企業・行政が協働して駅周辺のまちづくりを推進するため、平成28年度に地域の産学官金で構成する「長万部まちづくり推進会議」を設置し、新幹線駅開業に向けた様々な取組を検討し、実行しているところです。

新たに建設される新幹線駅舎につきましては、地域の象徴として末永く親しまれる施設となるように、長万部高等学校生徒7名と長万部まちづくり推進会議委員で構成した「新幹線駅デザイン検討委員会」を設置し、議論を重ねてまいりました。

検討委員会では、当町の特徴を捉えた、様々な視点からの意見を長時間掛けて丁寧に集約し、この度その成果を取りまとめました。

つきましては、今後の駅舎建設にあたり新幹線駅に寄せる地域の期待をご理解いただき、要望する駅舎デザインコンセプト及び附帯意見につきまして、最大限反映してまいりますよう特段のご配慮をお願いします。

長万部町長 木 幡 正 志

北海道新幹線長万部駅舎デザインコンセプト

「湯けむり香る噴火湾、人と時代の交差点」

羊蹄山や駒ヶ岳を背景に内浦湾を一望することができる当町では、町民は一般的に内浦湾を「噴火湾」と呼び親しんでいることや、市街地に温泉がある街でもあるということ、を、「湯けむり香る噴火湾」という言葉で表現しました。

さらに、「人と時代の交差点」という言葉には、長万部が古くから鉄道の要衝であったことと、これから新幹線駅となって、ますます交通拠点として繁栄することを期待する思いが込められています。



5. 長万部町より受領した駅デザインコンセプト

附帯意見

北海道新幹線長万部駅舎に関する附帯意見について、次に掲げる3つのテーマに基づき要望します。

テーマ1 ～汽笛が響く日だまりの温泉駅～

古き良き長万部を通過する汽車が、乗客が「かにめし」の原点である毛がにを頬張る姿を背景に、汽笛を鳴らす様子を想い起こす、鉄道のまちとして歩んできた長万部の歴史を感じさせる駅を目指しています。



テーマ2 ～開放感あふれる次世代に繋がる駅～

当町が有する雄大な自然環境を、次世代まで繋げていくため、昔からある道産木材やガラスの活用、噴火湾を眺望できる展望台の設置を踏まえた、開放感のある駅を目指しています。



テーマ3 ～みんなまんべでほっかほか、緑いっぱい北の温泉駅～

長万部駅は、昔から緑環境が良好で温泉が近傍にある駅であることを踏まえ、新幹線駅舎から「長万部」という自然が豊かな故郷を思い出してほしい思いを込めて、心が温まる駅を目指しています。



5. 長万部町より受領した駅デザインコンセプト

附帯意見（共通）

- 1 開放感のあるガラス張りの駅造り
- 2 噴火湾を望む誰もが楽しめる展望台の設置を考慮したデザイン
- 3 天井を透明にし、太陽光が注がれるようにする
- 4 温泉の温かみを感じられるような落ち着いた色調を使った駅舎
- 5 落ち着いた色味の地域の木材を活用した開放感のある駅
- 6 長万部町にマッチした木々に囲まれたデザインの駅舎
- 7 AI、IoTの積極的導入による利便性の追求
- 8 バリアフリーを強化したユニバーサルデザイン駅
- 9 インバウンドを意識したプラットフォーム作り
- 10 誰もが共生できるダイバーシティ駅



テーマ1独自の附帯意見

- 1 北海道の自然をイメージしたレトロな外観
- 2 古き良き長万部町の歴史を感じさせる雰囲気駅の駅舎

テーマ2独自の附帯意見

- 1 サスティナブルな駅舎の構築
- 2 ガラス張りの中に道南の木材を活用した駅の作り

テーマ3独自の附帯意見

- 1 懐かしさを感じる景色を強調させた駅舎デザイン
- 2 温泉をイメージした温かな落ち着いた雰囲気駅の駅舎

